

第Ⅰ回箕面市特別職議員報酬等審議会概要

日時:令和7年2月20日(木)午後2時から午後3時

場所:箕面市役所本館2階特別会議室

【出席者委員】松出会長、川邊委員、太田委員、中委員、黒瀬委員、上田委員、梶原委員、藤田委員、山本委員

【事務局出席者】原田市長、村田部長、巢組副部長、魚谷室長、田中グループ長、池田

1.開会

2.委員自己紹介

3.市長挨拶

4.事務局紹介

5.会長及び職務代理者選出

委員互選により松出委員が会長に選出

松出会長の指名により黒瀬委員を職務代理者に指名

6.諮問書手交

手交後に市長退席

7.議事

(1)特別職の給与制度について

(事務局より資料2、資料3、参考資料1、参考資料2に基づき説明)

(委員)

- 特別職を一体で評価するのはおかしいのでは。例えば市長のプライベートでの不祥事等により市民の心証が悪くなり、副市長等が連帯責任で給料が減額されることが起こりうる。別々の評価が望ましいと思う。

(委員)

- 教育現場の責任者は教育長であり、市長等とまとめて評価するのはおかしい。

（事務局）

- 特別職はそれぞれの領域で責任を果たし、連携を図ることで政策展開を行っていることから、市長だけでなく、副市長等も対象とする案を提案している。次回審議会で、一体的に評価することのメリット・デメリットを提示する。

（委員）

- 市民満足度アンケート調査について、回収率が50%未満のような場合でも、その結果を給料に反映するのか。

（事務局）

- 現時点では回収率を考慮することは考えていない。

（委員）

- 市民は自分に関わりのある政策が行われていれば肯定的になるし、そうでなければ否定的になることが予想されるため、偏りがでないようにアンケートのサンプル数を増やす必要があるのではないか。

（事務局）

- 検討はするが、サンプル数を増やすことによるコストの増も想定される。

（委員）

- 市の経営は市民からは見えにくいし、人によって興味関心も異なる。全国でも稀な制度を導入するのであれば、市政の見える化が必要だと考えるが、何か新たな取り組みは検討しているのか。

（事務局）

- 既存のホームページ等を用いた広報は実施していくが、新たな取り組みについては検討していない。

（委員）

- 人件費について、資料2では市長分のみの計算となっており、副市長と教育長の給料上昇分を考慮すると人件費増額になるのではないか。

（事務局）

- ご指摘のとおり、資料2では市長分の退職手当と本制度による人件費増額分の比較をしているため、副市長と教育長の人件費増額分を含めると、本制度による人件費増が上回る。

（委員）

- 賞与は本制度の対象外ということでもいいか。また、市民満足度アンケートは 2,000 人を対象に行っているとのことだが、その人数の根拠はあるのか。

(事務局)

- 賞与についてはお見込のとおり。アンケートの人数については、箕面市民全体の意見が抽出できる人数設定にしているはずだが、正確な根拠は確認する。

(委員)

- 無作為調査なので、自分の意見を届けたい人が届けられないケースもある。自分の意見を届けたい人が届けられる仕組みもあればよい。

(委員)

- アンケート対象者の中には市政に興味が無い人もおり、肯定的な意見も否定的な意見も持っていないかたのために「分からない」という選択肢があればいい。

(事務局)

- 「分からない」という選択肢があると、回答がそこに集中してしまう可能性が高いため、他に何か方法がないか検討する。

(委員)

- 賞与は本制度の対象外にしているが、それはなぜか。賞与にも反映すればいいのではないか。

(事務局)

- 先進事例である寝屋川市の制度に準じて設計している。賞与を対象にするかどうかは検討する。

(委員)

- 市の発展に繋がるプロジェクト等が企画され、それが達成されることで箕面市が良くなっていくのであれば給料を上げればよいと考える。アンケート以外に、プロジェクト等の達成基準があればいいのではないか。

(委員)

- プロジェクトに KPI が設定されていればいいのだが、なかなか基準の設定が難しいかもしれない。

(委員)

- 個人的には給料を上げていくべきだと思っており、減額率のほうが大きいのはおかしいのではないか。国として国民の所得をあげていかないといけないという流れになっている。特別職を減額すると一般職の給料にも影響が出る。

(委員)

- 市政を見える化し、アンケートに回答するための材料をどれだけ市民に提供できるかどうか、本制度の導入の趣旨である市民の市政への関心を高めることに繋がる。

(委員)

- 大阪南部には箕面市を手本にしている自治体があり、視察に行っても箕面市に教えることは無いと言われたことがある。箕面市の中で生活していると分からないこともあるので、市民に対してしっかりと情報提供を行っていくべきである。

(委員)

- できる限り市民の意見を反映できるような制度にしてほしい。

(委員)

- 特別職を一体とし、連帯責任で評価することには懸念がある。連帯責任という考え方が一般職にも影響するのではないかという点を危惧している。

(委員)

- アンケートの方法は紙かオンラインか。

(事務局)

- アンケートは紙で実施している。

(委員)

- オンラインでの実施にすれば、サンプル数を増やしてもコストを抑えられるのではないかと思う。

(2) その他

事務局より次回審議会を3月上旬に開催する方向で日程調整を行う旨連絡。

以上